

令和7年

2

1

健康寿命の延伸のため予防検診項目を拡充します。

健康増進事業

(担当課 熊谷保健センター 令和8年度～ 地域保健課)

概要

各種がん検診を実施し市民の検診の機会を確保しています。多くのがんは早期発見により治癒可能であり、がん検診は早期がんを発見するのに有効です。

実施した検診

胃がん（50歳以上、2年に1回）、大腸がん（40歳以上）、肺がん（40歳以上）
子宮頸がん（20歳以上の女性、2年に1回）、乳がん（40歳以上の女性、2年に1回）、
前立腺がん（50歳以上の男性）、骨粗しょう症（40・45・50・55・60・65・70歳の女性）、
肝炎ウイルス（40歳）

歯科保健事業

(担当課 保健センター 令和8年度～ 地域保健課)

概要

口腔の健康は、健康で質の高い生活を営む上で重要な役割を果たします。定期的な歯科検診の機会を通じて歯・口腔の健康の保持・増進を図ることができるよう支援します。

実施した検診

歯と口の健康診査
(20・30・40・45・50・55・60・65・70・75・80歳)



令和7年

2

2

早期不妊検査等費用の助成・不妊治療費の助成・不育症治療費の助成などを充実させ、不妊治療を受けやすくします。

こどもを望む夫婦が経済的な理由で治療等を断念することなく、安心して医療機関を受診できる環境を整えました。また不妊治療については、令和4年4月から保険適用となりましたが、治療を行う夫婦にとっては依然として大きな精神的・経済的負担となっていることから、少子化対策の推進や子育て支援充実のため、今後も継続して助成していきます。

早期不妊検査費等助成事業

(担当課 健康づくり課 令和8年度～ 健康推進課)

概要 不妊検査もしくは不育症検査に係る費用の自己負担額に対して、夫婦一組につき3万円(千円未満切捨て)を上限にそれぞれの検査ごとに1回限り助成します。

実績

・早期不妊検査	77件	2,217,000円
・不育症検査	11件	225,000円

不妊治療費助成事業

(担当課 健康づくり課 令和8年度～ 健康推進課)

概要 不妊治療(特定不妊治療・男性不妊治療)を受けている夫婦の経済的負担を軽減することを目的として、不妊治療費および交通費の一部を助成しています。

実績

不妊治療	143件	12,616,868円
------	------	-------------

不育症治療費助成事業

(担当課 健康づくり課 令和8年度～ 健康推進課)

概要 「不育症」の治療に取り組んでいるご夫婦に対し、治療費用の一部を助成します。

実績

不育症治療	3件	298,950円
-------	----	----------



令和7年

2

3

防災ノートで「自分の身は自分で守る」安全教育を充実します。

防災ノート導入事業



(担当課 学校教育課)

概要

令和8年度に防災ノートを作成するため、令和7年度は準備を行いました。
これは、防災について発達段階に応じて学ぶことができる書き込み式のノートです。
1月頃に小中学校全児童生徒に配布し、使用を開始します。
「防災ノート」を活用した安全教育を通して、自分の身は自分で守る児童生徒を育成してまいります。



令和7年

2

4

治水対策を進めるとともに、自主防災組織を支援し防災士の育成を拡充するなど、大規模自然災害への対策の強化を図ります。

新星川改修事業

(担当課 河川課)

概要

市内大原地区を含む新星川流域において、集中豪雨等による浸水被害や道路冠水等の軽減を図るとともに、良好な生活環境を築くため、準用河川新星川の改修工事を進めます。

令和7年度は、難工事である、ラグビーロード横断部について、河川改修工事を完了させることができました。



ラグビーロード横断部工事の様子

「熊谷市防災士養成講座」の実施

(担当課 危機管理課)

概要

地域防災活動を担う人材育成を行い、地域防災力を充実・強化するため、自己負担なく熊谷市近隣の会場で防災士の資格が取得可能な「熊谷市防災士養成講座」を開催し、令和7年度は、45名の防災士を養成しました。

POINT!

これまで防災士の資格を取得するためには、都内やその近郊に2日間通う必要がありました。
当講座は、自己負担なく熊谷市近隣の会場で取得できます。

「防災ラジオ」の無償貸与

(担当課 危機管理課)

概要

災害時において市民等へ適切な緊急情報等をより確実に伝達することを目的とし、「防災ラジオ」の無償貸与を行っています。このラジオは、防災行政無線と連動してFMクマガヤから発信される緊急割込み放送を自動受信できるため、防災行政無線を補完する役割を持ち、夜間や荒天時に大変有効な情報伝達手段です。

令和7年

2

5

がん患者へのウェルビーイング支援を進めます。

がん患者のQOL（生活の質、生命の質など）向上のため、がん患者及びその家族の心理的・経済的負担の軽減を図ります。

アピアランスケア支援事業

（担当課 健康づくり課 令和8年度～ 健康推進課）

概要

がん治療に伴う外見の変化をケアするアピアランスケア用品（ウィッグ・補整具等、胸部補整具等）の購入に対して、年度につき各1回限り、上限1万円として費用の一部を助成します。また、より多くのがん患者の方に利用していただけるよう、男性でも手に取りやすいデザインのチラシを作成し、事業を周知してまいります。

実績

申請者 71人



若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業

（担当課 健康づくり課
令和8年度～ 健康推進課）

概要

18歳以上40歳未満の末期がん患者が自宅で安心して療養生活を送ることができるよう、訪問介護の利用や福祉用具の貸与、購入など在宅療養に必要な生活支援費用の助成を行います。

実績

申請者 0人

令和7年

2

6

関係機関と連携し、地域医療体制を守るとともに、市民の健康づくりを推進します。

市民の健康と生命を守るため、医療機関・近隣自治体と連携し、第二次・第三次救急医療、小児救急医療及び休日・夜間急患診療所の運営体制の確保を図っています。

実施医療機関等の運営費の一部を補助

(担当課 健康づくり課 令和8年度～ 健康推進課)

■ 第二次救急病院群輪番制運営費補助金の交付		
・ 市内4病院	決算額	31,115,520円
・ 太田市救急医療対策事業費負担金	決算額	1,154,300円
■ 第三次救急医療支援事業補助金の交付	決算額	10,987,000円
■ 熊谷・深谷・児玉地区小児救急体制確保に係る負担金の交付		
・ 医療支援事業運営費負担金	決算額	2,139,190円
・ 医師派遣支援事業運営費負担金	決算額	1,594,692円
■ 休日・夜間急患診療所の体制確保に係る補助金の交付		
	決算額	8,643,200円



休日・夜間急患診療所

(担当課 母子健康センター 令和8年度～ 健康推進課)

概要

市民が安心して暮らせるように、内科・小児科の比較的軽症な方及び歯科の診療を、医師と歯科医師が交替で実施しました。なお、夜間は年間(365日)を通じて内科・小児科の診療を行うとともに、日曜や祝日、年末年始の日中において、内科・小児科及び歯科の診療を行いました。

実績

受診者数 3,668人

令和7年

2

7

感染症対策を推進します。

男子へのHPVワクチン接種費用助成事業

(担当課 母子健康センター ※令和8年度～ 健康推進課)

概要

子宮頸がん撲滅とヒトパピローマウイルス（HPV）関連のがん予防を推進するため、任意接種である男子のHPVワクチン接種に係る費用の助成を行います。

効果

男子がHPVワクチンを接種することで、HPVによるがんを予防し、HPVに感染した男性との性交渉による女性への感染及び子宮頸がんの発症を防ぐとともに、接種を希望する保護者の経済的負担の軽減を図ります。

実績

申請数	19件
助成回数	42件
助成額合計	744,863円

帯状疱疹の予防接種に係る費用の一部を助成

(担当課 健康づくり課 ※令和8年度～ 健康推進課)

概要

心身のストレスから帯状疱疹を発症する人が増加する中、任意予防接種に係る費用の一部を助成することで接種をしやすくし、発症を抑制することで市民の健康保持・増進を図ります。

実績

生ワクチン	171回
不活化ワクチン	2,638回

POINT!

帯状疱疹は令和7年度から定期接種となりましたが、本市では、50歳以上の定期接種対象者以外の方の任意接種に対し費用助成を継続します。

